

23. 凝結より硬化までに衝撃を受けたコンクリートの強度について

徳島大学工学部土木教室 荒 木 謙 一

(要旨)

コンクリートが凝結中に衝撃を受けることは好ましくないが、その被害の程度が凝結の進行あるいは衝撃を受ける時期と如何なる関係にあるかを実験的に調べた。

衝撃としてはコンクリートを 15×30 cm の円筒型枠に填充した後、0.7 cm の落下衝撃を毎分110回の割合に10分間与え、数日後の圧縮強度を試験した。図はその一例を示したものである。

